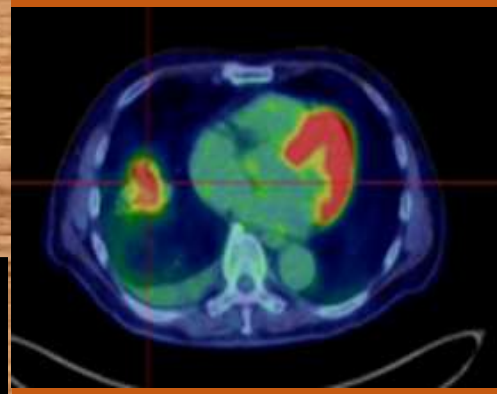


核医学検査

-Nuclear Medicine-



【核医学検査とは？】

核医学検査は放射性医薬品を体内に投与し、特定の臓器に集まった薬から放出される放射線をガンマカメラという機械で検出・画像化します。放射性医薬品の分布を画像化することをシンチグラフィといいます。

核医学検査 Q&A



Q1.核医学検査はどんなことがわかるの？

薬の集まり方や分布から、体の機能や代謝状態を調べることができます。



Q2.検査時間はどのくらいかかるの？

短いと 20 分、長い検査ですと 1 時間程度です。検査によっては、時間をおいて複数回撮影することがあります。



Q3.体に放射線が出る薬を入れて大丈夫？

放射性医薬品による副作用は約 1~2 人/10 万人です。薬から放出される放射線もわずかなので、体に影響が出る事はありません。

ただし、薬の種類によっては検査直後の乳幼児に対する授乳や長時間の抱っこを避けて頂くことがあります。



【核医学治療について】

当院では核医学検査に加えて、放射性医薬品による治療も行っています。

核医学治療は病変に集まる薬を使用し、薬から出る放射線によって治療します。

痛みもなく、また他の治療薬と比較して副作用が少ない事が特徴です。

【核医学治療の適応例】

- ・バセドウ病に対する内用療法
- ・甲状腺摘出後のアブレーション(焼灼術)

治療用のカプセルを服用します。薬は甲状腺によく集まるので、効率よく治療が行えます。

- ・去勢抵抗性前立腺癌の骨転移治療

治療用の薬を注射します。薬は代謝が活発になっている骨に集まるので、骨転移したがん細胞の増殖を抑制します。



GE 社製 SPECT/CT 装置
NM/CT 870DR

ご不明・ご心配なことは診療放射線技師にお尋ねください。
中央放射線部ホームページも是非ご覧ください →→→→→
<https://aichi-med-u-radio.com>

